

## 1. 教育目標

消化器外科領域における難治性疾患に対して既存の治療にかわる分子遺伝子治療法の開発および発病メカニズムの解明を目標とし、臨床的ならびに基礎的に研究を遂行するのに必要な高度の研究能力・学識を身につける。主とする研究対象疾患は消化器癌、難治性肝疾患（肝硬変・肝不全）でこれらの発生および進展に関与する分子機構の解明および制御法の開発を対象とする。

## 2. 到達目標

- (1) 研究を計画・遂行するにあたり必要な最新の文献および情報を収集できる。
- (2) 解析に必要な分子生物学的実験手技および遺伝子導入ベクターの調整を行なうことができる。
- (3) 得られた実験結果を正確かつ論理的にまとめることができる。
- (4) 研究テーマおよび結果について優先性・独創性を見極めることができ、随時学会や研究会で発表することができる。

## 3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

研究成果の発表（70%）、課題におけるレポート提出（30%）

## 4. 教科書・参考書

特に定めない。必要に応じて参考資料等を配布する。

## 5. 準備学習

予習としては、関連文献を検索し、知識を整理して授業・実習に臨むこと。（1時間以上）

復習としては、講義内容を整理し、ノートなどにまとめておくこと。（1時間程度）

## 6. 備考

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

## (第1学年・昼間開講)

## 【分子遺伝子治療学】

曜日	時間	期間	単位	授業区分	項目	内容	担当者	場所
月	13:00 ～ 14:15	通年	4	講義	分子・遺伝子治療学	分子・遺伝子治療学総論	中村臨床講師	第2研究室
火	9:00 ～ 10:15	通年	4	講義	分子治療学一般	外科腫瘍学 腫瘍遺伝学	廣野主任教授	第2研究室
水	8:20 ～ 9:35	通年	4	演習	外科学、分子医学セミナー	研究経過の報告と外国文献の抄読	廣野主任教授 藤本講師 末岡助教	カンファレンスルーム
木	13:00 ～ 15:30	通年	4	実験(臨床)研究	分子・遺伝子治療学各	動物実験モデルの作製	廣野主任教授	手術センター および病態研
金	9:00 ～ 11:30	通年	4	実験(臨床)研究	分子・遺伝子治療学各	遺伝子発現の解析	廣野主任教授 藤本助教 鳥口助教 奥野助教 飯田助教	手術センター および第1研究室

## (第1学年・夜間開講)

火	18:00 ～ 19:15	通年	4	講義	分子・遺伝子治療学	分子・遺伝子治療学総論	中村臨床講師	第2研究室
水	18:00 ～ 19:15	通年	4	講義	外科学一般	外科腫瘍学 臓器移植、臓器障害の病態 腫瘍遺伝学	廣野主任教授 藤本講師 末岡助教	第1研究室
	19:25 ～ 20:40	通年	4	演習	分子医学セミナー	研究経過の報告と外国文献の抄読		カンファレンスルーム
木	18:00 ～ 20:30	通年	4	実験(臨床)研究	分子・遺伝子治療学各	動物実験モデルの作製	廣野主任教授 中村臨床講師 末岡助教	病態研
金	18:00 ～ 20:30	通年	4	実験(臨床)研究	分子・遺伝子治療学各	遺伝子導入、遺伝子発現の解析	廣野主任教授 多田臨床講師	第2研究室

## (第2学年・昼間開講)

月	16:00 ～ 17:15	通年	4	演習	外科学、分子医学セミナー	研究経過の報告と外国文献の抄読	廣野主任教授 中村臨床講師 多田臨床講師	カンファレンスルーム
火	13:00 ～ 15:30	通年	4	実験(臨床)研究	分子・遺伝子治療学各	分子生物学的手技	中村臨床講師	手術センター および第1研究室
水	9:00 ～ 11:30	通年	4	実験(臨床)研究	分子・遺伝子治療学各	分子生物学的手技	藤本講師 末岡助教	手術センター および第1研究室

## (第2学年・夜間開講)

水	18:00 ～ 19:15	通年	4	演習	分子遺伝子治療学セミナー	研究経過の報告と外国文献の抄読	藤本講師 末岡助教	カンファレンスルーム
木	18:00 ～ 20:30	通年	4	実験(臨床)研究	分子・遺伝子治療学各	各種分子生物学的手技	中村臨床講師	第2研究室
金	18:00 ～ 20:30	通年	4	実験(臨床)研究	分子・遺伝子治療学各	各種分子生物学的手技	多田臨床講師	第2研究室